



第3回関西 U-18 女子サッカー選手権大会兼  
JFA 第29回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会 関西大会 実施要項

1. 趣旨

一般社団法人関西サッカー協会（以下「本協会」という）は、関西地域における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与すること、そしてクラブチームのさらなる増加、活動の活性化を目的として、単独チームの大会を実施する。

2. 名称

第3回関西 U-18 女子サッカー選手権大会兼 JFA 第29回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会  
関西大会

3. 主催

一般社団法人 関西サッカー協会

4. 主管

一般社団法人 関西サッカー協会 女子委員会

5. 協力

株式会社 モルテン

6. 日程・会場

〈1回戦〉2025年11月1日（土）滋賀県 野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイクC（2試合）

〈2回戦〉2025年11月8日（土）兵庫県 兵庫フットボールセンター明石グラウンド（2試合）

2025年11月9日（日）大阪府 J-GREEN 堺 S7（2試合）

〈準決勝〉2025年11月15日（土）滋賀県 野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイクC（2試合）

〈決勝〉2025年11月24日（祝）滋賀県 野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイクC（1試合）

組 合 せ：参加チームによる説明会・抽選会を開催する。

2025年9月6日（土）18:30～ 高槻市立交流センター303号室

代表者会議：実施しない。抽選会時に実施する。（大会参加チームは必ず参加のこと。欠席は認めない。）

開 会 式：実施しない。

7. 参加資格

(1) 本大会に出場するチームは、大会実施年度に日本サッカー協会（以下、「JFA」）に「女子」種別で登録した加盟登録チームであること。但し、都道府県高等学校体育連盟加盟チームを除く。

(2) 本大会に出場するチームは、高校生年代の選手を5名以上登録する。試合開始時に高校生年代の選手が3名出ていなければならない。



- (3) 本大会に出場する選手は、2007年（平成19年）4月2日から2013年（平成25年）4月1日までに生まれた女子選手であり、2025年10月17日（金）までにJFAに登録（追加登録も含む）されていること。但し、都道府県高等学校体育連盟加盟選手を除く。
- (4) クラブ申請制度の適用
- JFAにより「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手（複数人可）については、所属チームから移籍することなく、上記（1）のチームで参加することができる。ただし、参加する選手については以下のすべてを満たしていること。
- ① 上記(2)を満たしていること。
  - ② 下記種別区分のチームに所属していること。
  - ③ 参加チームの種別区分 同一「クラブ」内のチーム登録種別区分
    - (ア) 参加チームの種別区分が WE リーグ・なでしこリーグ・一般・大学・高校・クラブ（高校生）・中学・クラブ（中学生）・（男子）2種・（男子）3種
    - (イ) 参加チームの種別区分が高校・クラブ（高校生） 中学・クラブ（中学生）・（男子）3種
  - ④ 本大会の予選を通じて、他のチームで出場していないこと。
- (5) 移籍選手：本大会の予選を通して、選手は他のチームで出場していないこと。

## 8. 参加チームとその数

兵庫県4チーム、大阪府1チーム、滋賀県2チーム、京都府2チーム、和歌山県1チーム、計10チーム

## 9. 大会形式

ノックアウト方式（3位決定戦を行わない）

## 10. 競技規則

大会実施年度のJFA「サッカー競技規則」による。（2025-2026）

## 11. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド フィールド表面は平坦でピッチサイズは原則105m×68mが望ましい。
- (2) ボール 試合球はモルテン社製ボール『ヴァンタッジオ 4900 芝用（品番：F5N4900）』（5号球）マルチボールシステムは採用しない。
- (3) 競技者の数
  - ① 競技者の数：11名  
交代要員の数：9名以内  
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内
  - ② 交代を行うことができる数：5名以内 以下、本項に基づく交代を「通常交代」という。
    - a. 試合中の交代は、各チーム最大3回とする（1回に複数人を交代することは可能）。ハーフタイムの交代は回数に含まれない。
    - b. 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる（決勝のみ。直前の90分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる）。延長戦開始前および延長戦のハーフ



タイムの交代は、回数に含まれない。

③脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

- a.脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
- b.脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
- c.脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- d.脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、追加交代および通常交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。
- e.1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする

(4) 役員の数 ベンチ入りできる役員の数：6名以内

(5) テクニカルエリア：設置する。テクニカルエリアからは、その都度ただ1名が戦術的指示を与えることができる。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

- a. JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- b. Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。  
日本女子プロサッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。  
日本女子サッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。
- c. ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。JFAに登録されたものを原則とする。ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- d. シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- e. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- f. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- g. ソックスにテープ又はその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合は、ソックスと同色でなくてもよい。
- h. アンダーシャツ・タイツの色は問わない。ただしチーム内で同色のものを着用する。



- i. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
  - j. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締め切り後の変更は認めない。
  - k. ユニフォームへの広告表示についてはJFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
  - l. ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- ②キャプテンアームバンド
- a. フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須とする。
  - b. アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。

## (7) 試合形式

- ① 試合時間は1回戦及び2回戦は80分（前後半各40分）、準決勝及び決勝戦は90分（前後半各45分）とする。
- ② ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 15 分間
- ③ 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
  - 1 回戦～準決勝：PK戦により勝者を決定する。
  - 決勝：20 分（前後半各 10 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は PK 戦により勝利チームを決定する。
  - 延長戦に入る前のインターバル：5 分間
  - PK 戦に入る前のインターバル：1 分間
- ④ アディショナルタイムの表示：行う

## (8) マッチ MT

試合開始 45 分前に各会場の指定された場所にて行う。（会場で確認のこと）

## (9) その他

- ① 第 4 の審判員の任命：行う
- ② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。
- ③ メンバー提出用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込をした 30 名の中からとする。

## 12. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は関西女子委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。



- (5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (6) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

### 13. 大会参加申込

- (1) 参加申込は役員6名、選手30名までとする。参加申込した最大30名の選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大20名を選出する。
- (2) 外国籍選手は5名まで参加申込でき、各試合で3名までエントリーできる。
- (3) 参加チームは、大会指定のエントリー表に必要な事項を入力の上、参加申込手続きを行う。
- (4) 申込期限：2025年10月17日（金）
- (5) 申込先：中西 朋子 naka22poco@yahoo.co.jp CC：谷口 雅則 masa.19801010@gmail.com  
※あわせて各府県女子委員長へも送付のこと
- (6) 参加申込締め切り以降、選手の変更は原則認めない。ただし役員の変更は可能とする。
- (7) エントリー・振り込みが、期限を過ぎた場合、大会参加を認めない。

### 14. 参加料

1チーム 54,000円 納入期限：2025年10月17日（金）15:00まで

振込先：ゆうちょ銀行

- 1. (一社) 関西サッカー協会
- 2. 口座番号 00990-0-169460 郵便局
- 3. 大会名 (No606) 第3回関西 U-18 女子サッカー選手権大会兼 JFA 第29回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会関西大会
- 4. チーム名・氏名 (必ず)

### 15. 選手証

JFA登録および本大会に参加申込を完了した選手のみが試合に出場する権利を有する。各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

### 16. 表彰

優勝・準優勝に表彰状を授与する。

### 17. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うものとする。

### 18. その他

- (1) 優勝・準優勝チームはJFA第29回全日本U-18女子サッカー選手権大会へ出場する権利を得る。  
(上記大会申込期限：2025年11月27日（木）15:00)  
今大会の優勝府県と準決勝府県を次年度大会の第一シード、第二シードにすることとする。



- (2)大会要項に規定されていない事項については（一社）関西女子委員会において協議の上決定する。
- (3) 天候等で中断は最大 30 分間の中断とし、前半が終了している場合はその時点のスコアで勝敗を決定する。（同点時は抽選にて次戦への決定を決める。）
- (4) 各会場の留意事項やマイクロバス等の乗り入れについては、各会場との確認を各チームでおこなうこと。
- (5) メンバー表は、試合開始 60 分前に本部に 3 部提出するものとする。

以上